

提供を目指す。

6 読谷村

観光開発事業と特産品開発事業の

両方 8,000千円

読谷まるごとブランド・イモづるプロジェクト

本村の特産品である紅イモは県内生産高の40%を占めており、県下ではその産地として認知されている。これまでは紅イモそのものの加工をしてきたが、その茎葉部の活用により農家及び加工業者、小売業者の所得増を図る。

メロンの漬物や読谷山花織のワンピース、トエロンについても、今一度その生産の可能性を探り農家と加工業者の所得増を図る。

本村には魚介類の加工品が無い。すべて居酒屋等の飲食店やさしみ屋、ホテル等に食材として利用されている。付加価値を高める努力が必要。

本村の観光資源を有機的に結びつけるための整備が必要。そこで今後は、ITを活用した住民や観光客のホスピタリティ溢れる新たなサービスを提供する事業の展開が急がれる。よってその調査を実施し事業の可能性を探る。

7 久米島

観光開発事業と特産品開発事業の

両方 8,000千円

美容と癒しの島・久米島 ブランド化計画(海洋深層水付加価値型事業)

今後の久米島の産業基盤として期待される海洋深層水の付加価値化を目指す。

拡大する癒し市場をリードする女性たちに、さらに美容機能を付加した商品サービスを提案していく。

癒し市場における、久米島ならではの特長を生かしたポジションを確立する。

8 竹富町

特産品開発事業 8,000千円

竹富島のLOHASな島土産開発事業
クヌシナヌスル九種類の島薬の
利活用

島内に食品加工場を作る。

製作工程を見学できる施設にすること。(条件によっては体験が出来るようにする)

アンマー(お母さん)食堂を併設して、その場で食べることが出来るようにすること。

島内観光消費額を増やすことに貢献すること。

島内雇用を増やすことによる定住人口の増加に貢献すること。

『JAPANブランド戦略策定支援事業』採択が決定!

●北谷町・伊江村商工会 平成19年度JAPANブランド戦略策定支援事業に北谷、伊江村両商工会が採択された。この事業は、地域団体、事業者の共通認識を取りまとめつつ、地域独自のブランド戦略策定とアクションプランを策定するもの。具体的には、ブランド策定のセミナー、関係者の研修会、地域資源調査、消費者ニーズ調査等が展開可能。事業費も定額で、地域コミュニティの醸成や地域資源の活用にも効果的。

JAPANブランド育成支援事業

1 伊江村

戦略策定支援事業 4,950千円

伊江島シモン合鴨の商品化戦略

食用薬草であるツルナやビタミンやミネラルの豊富なシモン芋を飼料に育成した合鴨を商品素材にすることとした。本事業で市場調査を実施し、商品コンセプト、ブランドコンセプトをまとめ、市場性の検討を行い、シモン合鴨の商品化の可能性を検討する。

2 北谷町

戦略策定支援事業 5,000千円

.....全国連受託事業

琉球IN CHATAN SEAブランド開発支援プロジェクト

北谷近海で獲れる「琉球ガザミ蟹」のブランド開発

「琉球ガザミ蟹」のブランド開発「構想をスタートさせる。地域資源である琉球ガザミ蟹を活用した高付加価値商品として、食品、非食品の開発を目標に調査研究を進める。今年度は、ブランド品開発の勉強会、県内米軍基地内の外国人の嗜好調査及び市場調査、既試作品の商品実現化可能性調査、国内及び国外の市場調査を重点事業として取り組みブランド開発の基礎を創る。

2007年県産品奨励月間のお知らせ

『美ら島生まれ キラリ輝く 県産品!』

県産品の使用奨励と需要拡大を図るため、県産品奨励月間が7月からスタートした。

今年は「美ら島生まれ キラリ輝く 県産品」の標語のもと、その一環として、連合会・各商工会では、地元企業、地元産品優先使用奨励に関するキャンペーンを行政当局、議会、関係団体等に展開する。久米島商工会では、6月25日、地元公共事業を島内事業者に優先的に発注するよう副知事に要請した。